



## 遠藤健太

所属 電子情報工学科  
職名 助教  
学位 博士(数理学)

## 数学と工学、そして融合へ

「整数論」と「非破壊検査の高度化」を研究しています。数学で身につけた知見を生かして、渦電流探傷試験の数値シミュレーションの精度向上が最近の課題です。また、ICTや生成AI等の技術発展により、実験機器の使い方やプログラミング教育は効率化され、物事を原理的に理解する教育の比重が増えていくと考えており、そのような教育の高度化にも取り組んでいます。

連絡先 : [endo-k@info.suzuka-ct.ac.jp](mailto:endo-k@info.suzuka-ct.ac.jp)

## 研究

専門 解析的整数論, ハイパー群, 非破壊検査工学

所属学会 日本数学会, 日本高専学会

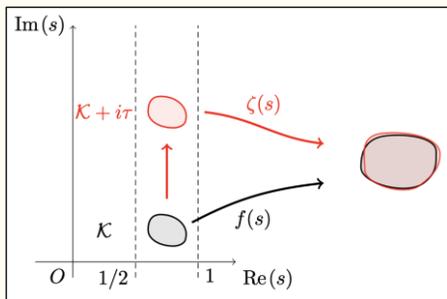
主研究テーマ 1) ゼータ関数の値分布論、特に普遍性定理について研究しています。

2) グラフから生じるパイパー群の構造を研究しています。

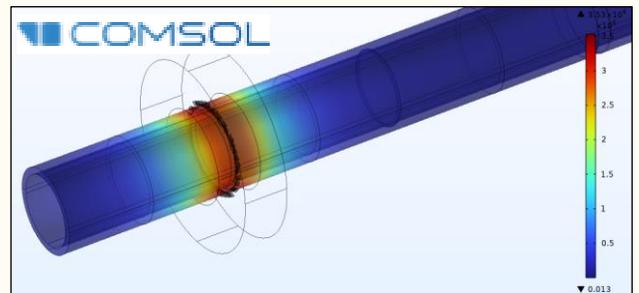
3) 渦電流探傷試験を研究しています。特に、数値シミュレーションによるコイル設計の最適化に取り組んでいます。

Researchmap <https://researchmap.jp/kenta-endo/>

Message お困りごとがありましたらお気軽にご相談ください。



ゼータ関数の普遍性



渦電流探傷試験の数値シミュレーション

## 教育

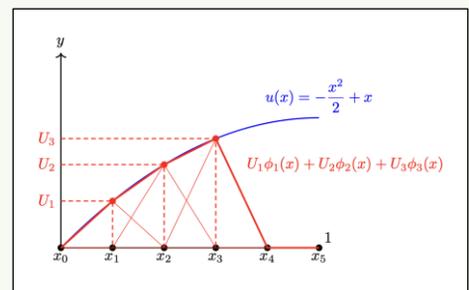
担当授業 情報処理I(1年), 情報リテラシー概論(1年), 工学基礎実験(1年)

創造工学(4年), 卒業研究(5年)

取り組み 教育の高度化にも取り組んでいます。



公開鍵暗号の仕組み



Sagemathによる数値シミュレーション教材